

第15回アートまつりin向原

4月26日(日) 向原農村交流館やすらぎ・ふるさと河原公園
 主催 アートまつり実行委員会・向原農村交流館やすらぎ

さまざまなジャンルのアート・クラフトの展示や販売、作り手と触れ合えるワークショップが充実。さらに、グルメや大自然の中で楽しむ音楽ライブを開催。キッズ向けの体験企画も展開され、五感で楽しむにぎやかなひとときとなりました。



ひろしま神楽春夏秋冬特別公演in神楽ドーム

5月2日(土) 神楽門前湯治村神楽ドーム
 主催 安芸高田神楽協議会

松原神楽団(安芸太田町)、有田神楽団(北広島町)、下河内神楽団(広島市)、河津原神楽団(廿日市市)、黒瀧神楽団・桑田天使神楽団(安芸高田市)が出演。他地域の多彩な舞が次々と披露され、神楽の魅力を存分に味わえる一日となりました。



人輝く

感謝状贈呈

まきの 槇野 ふみ子 (高宮町)

2月17日(火)、吉田町内で発生した救急事案において、迅速かつ適切な応急処置により一人の尊い命が救われました。その功績を称え感謝状を贈呈しました。



メイプル賞受賞

いなべ 鑄鋼 まき (高宮中出身)

学校活動やスポーツ活動で優秀な成績をおさめた方に贈られるメイプル賞を、広島県教育委員会から受賞されました。

【表彰理由】 第56回全国中学校柔道大会 女子個人70kg超級優勝



カワシマ興産株式会社(広島市)

ふるさと納税を活用して多額の寄附を頂きました。この寄附金は、安芸高田市の未来につなげるプロジェクト「安芸高田市サッカー公園整備プロジェクト」に活用します。



感謝状受領

安芸高田市消防本部

2025年3月に愛媛県今治市で発生した林野火災に際し、安芸高田市消防本部から6人を緊急消防援助隊として派遣しました。その消火活動の功績が認められ、消防庁長官から感謝状が贈呈されました。



※敬称略

安芸高田 歴史紀行

あきたがた
れきしきこう



歴史民俗博物館 副館長 秋本 哲治

シリーズお城拝見 | 第100回

甲立の城跡

(甲田町上甲立・下甲立・深瀬・浅塚・稼地)



長峰山神社遠望 (G稼地城、西側から撮影)



甲立地区城跡位置図(地理院地図Vectorに加筆)

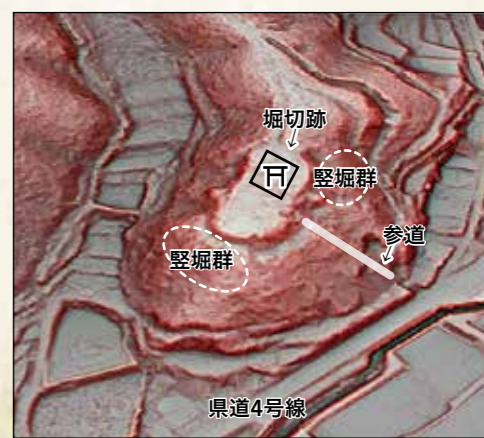
甲立の中世
 江の川と本村川流域であった甲立一帯は平安期には「川立」と呼ばれていましたが、後に「甲立」と記されるようになります。平安末期からは厳島神社領となりましたが、室町期からは常陸(茨城)の宍戸氏が領主として土着しています。
 戦国期には宍戸一族内部での政権抗争や吉田の毛利氏の侵攻を経て、1540年代に宍戸氏と毛利氏の間で盟関係が成立。宍戸氏は次第に毛利氏を支える最有力の一族となりました。甲立はその本拠となりました。



G乳母ヶ城遠望(南東側から撮影)

甲立地区の城跡
 甲立地区には伝承を含めてA~Fの6か所の城跡があります。
 上甲立のA五龍城(県史跡)は宍戸氏本拠の巨大な山城です。B柳ヶ城は、甲立古墳に隣接し、宍戸氏の城と伝わります。C乳母ヶ城は宍戸家臣加屋氏の城と伝わります。
 下甲立のD推崎城は城山と伝わりますが、遺構はありません。深瀬のE岩屋城(市史跡)は宍戸一族深瀬氏の城と伝わります。浅塚のF勝山城は宍戸家臣青山氏の城と伝わります。このように稼地を除く大字(旧村)ごとに城跡が残ります。

稼地にも城跡がある？
 稼地には本当に城跡がないのか航空レーザー測量による赤色立体地図を細かく観察したところ、現在の長峰山神社に城跡らしき地形が見えました。早速現地を調査すると、神社境内の周囲に多数の堅堀などの遺構を確認しました。
 長峰山神社は1934年に現在地へ移転したことが判明(『甲田町誌』)した上、付近の地名に「大城」があります。よって、神社移転以前からここが城跡だった可能性があるため、G稼地城(仮称)としました。今後も検討を続けます！



G稼地城赤色立体地図鳥瞰図(北側から)

2010年5月に開始した「お城拝見」。遂に100回目となりました！今回は、安芸高田市の北東端に当たる、甲田町甲立地区の城跡を紹介します。なお、甲立地区は、1956年に甲田町が誕生するまで「甲立町」でした。